

平成 26 年度復興庁概算要求のポイント

○ 平成 26 年度復興庁概算要求額は、2.7 兆円 + α (事項要求分)

- ・ 平成 25 年度復興庁予算額：2.9 兆円

○ 復興の進展に合わせた重点のシフト (「がれき処理」を終え、「復興まちづくり」の本格化へ)

- ・ 災害廃棄物の処理 (1,266 億円→253 億円)
- ・ 東日本大震災復興交付金 (5,918 億円→5,155 億円)
- ・ 社会資本整備総合交付金 (441 億円→853 億円) 等

○ 予算の執行状況を踏まえ、被災地の復旧・復興に十分な 予算を確保

- ・ 被災者生活再建支援金補助金 (840 億円→190 億円)
- ・ 災害復旧事業 (6,611 億円→7,749 億円)
- ・ 放射性物質により汚染された土壌等の除染 (4,978 億円→3,341 億円) 等

○ 福島に関しては、避難指示区域の見直しの完了を踏まえ、 避難者への支援、ふるさとへの帰還の加速化のための予算 を計上

- ・ 地域の希望復活応援事業 (48 億円→113 億円)
- ・ コミュニティ復活交付金 (503 億円→612 億円)
- ・ 子ども元気復活交付金 (100 億円→101 億円)
- ・ 福島避難解除等区域生活環境整備事業 (24 億円→20 億円)
- ・ 福島帰還地域における生活環境の向上のための経費 (新規：事項要求) 等

○ 先導モデル事業など、「新しい東北」を着実に推進

- ・ 「新しい東北」先導モデル事業
- ・ 起業者への投資促進のためのプラットフォーム構築事業
- ・ 食料生産地域再生のための先端技術展開事業
- ・ 地域支え合い体制づくり事業
- ・ 浮体式ウィンドファーム実証研究事業 等

○ 使途の厳格化を行い、被災地の復旧・復興に直接資する ものとなるよう精査